

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

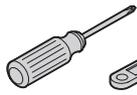
⚠ 取付に関する注意

| | | | |
|--|---|--|--|
| | 施工・交換・移設は、必ず専門の配管工事業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・カウンターの破損の原因となります。 | | この説明書に記載された項目以外は分解しないでください。破損や怪我、やけど、水漏れが発生するおそれがあります。 |
|--|---|--|--|

⚠ 使用に関する注意

| | | | |
|--|--|--|--|
| | 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。器具が破損し、怪我をしたり、漏水発生のおそれがあります。 | | お湯をお使いになる際は必ず水側のハンドルから開栓してください。湯側から開栓すると高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | 首振り操作は乱暴に扱うと、故障や水漏れの原因となることがありますので、乱暴な首振り操作はしないでください。 | | お湯を止める際は必ずハンドルを水側の状態に戻して閉めてください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | 水栓本体に直接水をかけないでください。故障の原因やキャビネット内へ水が浸入し、家財などを濡らすおそれがあります。 | | 高温の湯をお使いの後は器具内に湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用する際、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。 |
| | 他の箇所と同時使用すると圧力の変動が起こり、お湯の温度が急変する事があり、やけどをするおそれがあります。 | | 凍結が予想される場所で使用する際は、給水・給湯管の水抜き操作等を行い水栓内に水が残らないようにしてください。凍結破損で漏水するおそれがあります。 |
| | 化粧品(クレンジング剤、整髪料、ヘアカラー剤)などを水栓に付着させないでください。変色や破損のおそれがあります。 | | ハンドル操作はゆっくり行ってください。急な吐水、止水は配管からの漏水の原因になるおそれがあります。 |
| | 高温のお湯を使用の際は本体も高温になっておりますので、直接触れないでください。やけどをするおそれがあります。 | | ご使用時には必ずハンドルの位置を確認してから吐水してください。高温の湯が出てやけどのおそれがあります。 |

必要工具および現場手配品



プラスドライバー



モンキーレンチ



ウエス



バケツ

その他：

カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー、シーリング材

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>重要事項</p> <p>シンク本体の取り付け前に、シンクへの水栓金具の取付をお勧めします。</p> <p>大理石など天然石材製カウンター等には石材にあった止水剤をご使用ください。</p> <p>警告</p> <p>この水栓金具には逆流防止機能が付いています。水の汚染を防ぐため、この水栓金具から内部部品を取り外さないでください。</p> | <p>お知らせ</p> <p>説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。裏面の部品図を参照して該当部品をご確認ください。</p> | <p>1 3穴シンクへ取付</p> <p>※1穴シンクには使用出来ません。1穴シンクの場合は2へ進んでください。</p> <p>シーリング材</p> <p>3ホール用の台座（プレート）を取り付けます。 1ホール仕様の場合は2へ進んでください。 シーリング材を裏面に施してください。</p> | <p>エスカッション</p> <p>はみ出たシーリング材を拭き取ります。</p> |
| <p>2 1穴シンクへの取付</p> <p>1ホール仕様の場合は、シーリング材の施工は不要です。</p> <p>エスカッション</p> | <p>3 固定ナットの準備</p> <p>固定ナットにネジを仮締めします。ネジが干渉して固定ナットを締め込めない場合は、固定ナットの向き(表裏)を反対にしてください。</p> | <p>4 水栓本体の固定</p> <p>ワッシャー</p> <p>ネジが前と後になる向きで、ワッシャーとナットのスキ間が5mm程度なるように固定ットの締め具合を調節し、ネジを締め込みハンドルを固定します。</p> | <p>5 給水/給湯の接続</p> <p>給水、給湯を接続します。接続前に十分に洗管し、配管内のゴミを吐き出します。</p> <p>最小75mm COLD 水側</p> <p>同梱の1/2変換アダプタを使用します。</p> |
| <p>6 洗管</p> <p>シャワーホース接続前に、再度洗管し、配管内のゴミを吐き出します</p> | <p>7 ホースの接続</p> <p>差し込む前にウェイトをホースへ入れておきます。</p> <p>逆止弁のネジ切側をホースへ締め込みます。</p> | <p>スパウト部ホースへ逆止弁をカチッと鳴るまで差し込む</p> | <p>8 水漏れの確認</p> <p>水漏れを確認します。</p> |
| <p>9 ウェイトの調整</p> <p>シャワーホース下端から50~75mmの高さにインシュロックを仮止めします。 ※上からウェイト、インシュロックの順になるようにする事。</p> <p>50~75mm</p> <p>動きを確認して問題なければ、しっかり締めて余分を切ります。</p> | <p>ホースを外す場合は、逆止弁上部の開口部から爪を押し込み逆止弁を抜きます。</p> | <p>お手入れ方法</p> <p>ゴミやカルキが詰まってしまった場合は、水が流れている状態でシャワーヘッド先端のゴム部分を軽く指先で擦って取り除いてください。</p> <p>※強く擦りすぎるとゴム部分が破損してしまう可能性がありますのでご注意ください。</p> | |